|  |  |
| --- | --- |
| 響流の森　だより　（園長室だより）　　 | 平成 31年2月1日附属幼稚園　第19号発 行 者　八谷俊一郎 |
| **今年も妙技を披露した竹馬乗り**　少し動くと汗ばむような春の陽気を思わせる青空の下で、筑女幼稚園年長恒例の竹馬披露会を実施しました。例年は、１０月末に竹馬づくりを行い、寒い１１月から１月の披露会までを練習期間として、本番を迎えていましたが、今年は仮設園舎ということで、テラスがなく園庭も狭くなって練習場所が少なくなったことから、早めの６月に竹馬づくりをして、少し長めの練習期間を取り、去る１９日（土）に披露会を実施しました。　仮設園舎裏の通路や年長前の廊下を利用して、練習を積み上げてきました。披露会を間近に控えて、担任が、年長室前の廊下にコースを設定したところ、これまで積極的でなかった子どもでも友達に励まされ、重い腰を上げて練習に熱を入れるようになりました。旧園舎には段差のある階段もあり多様な練習ができましたが、仮設園舎では、狭いスペースを利用しての練習でしたから、子どもたちの出来具合が気になりました。しかし、本番では、全員が、定番の前歩きや階段の昇降、カニ歩き、蛙飛び、後ろ歩きなど、様々な技を見事に披露することができました。　本番では披露しなかったので、保護者の方は見ることができませんでしたが、片足でのその場跳び（？）を８０数回できる子が数人います。私個人としては、難易度の高い技ですから、是非、披露してほしいと思っていましたが、その子どもたちは、残念ながら別の技を披露しました。　竹馬乗りは、「幼児期の終わりまでに育ってほしい１０の姿」の「健康な心と体」「自立心」「協同性」などいくつもの要素を含んでいますから、本園では、竹馬乗りを目指す活動の一つと考え、そのための年少、年中の活動を見直し、話し合いを進めているところです。C:\Users\encho\Desktop\H30 写真\年長\竹馬披露会\DSC_0079.JPG | H:\DCIM\100NCD60\DSC_0089.JPG誕生会で劇のプレゼント　今年度は、仮設園舎のため、全員集合しての誕生会ができないので１２月と１月生まれの子どもたちの誕生会を、２４日（木）に各クラスで行いました。年長さんは、今年限りということで、３人の担任が、毎回、出し物のプレゼントを工夫していますが、今回は、「大きなかぶ」の劇でした。来月の年長の劇の発表会を前にして、子どもたちにとっては、いい意欲付けになったことでしょう。前日に練習しただけなのに、３人の息がよく合い、登場人物３人にショートカットしたストーリーでしたが、素晴らしい演技力を発揮し、子どもたちに大うけでした。　他の学年でも、子どもたちの誕生日を祝って、各クラスで色紙による千切り似顔絵や冠のプレゼントなどが工夫され、誕生日を迎えた子どもたちはニコニコ笑顔でした。こうしてみると、先生とは、子どもたちにとって、よき指導者であるとともに、オーケストラの指揮者であり、演技者（役者）であり、お父さんやお母さんでもあります。一人何役もこなさなければなりません。自画自賛で申し訳ありませんが、本園の先生は、これらをすべて持っていると思います。今回のように子どもを喜ばすために、劇をする時は、直ぐにその役になりきって動作や声色を変えての演技に、いつも凄いなあと感心して見ています。私も子どもたちのために一度くらいと思いますが、一歩、踏み出す勇気がありません。来年度は・・・・。新任の先生紹介・・・堀之内　希巳子先生３学期始園式の日から田尻先生の後任として着任された先生です。筑紫女学園大学を卒業後、筑紫地区の保育園で数年間勤務されていましたが、縁があって、本園に勤務されることになりました。非常に明るくて、ピアノがとても上手くて、音楽好きの子どもたちをさらに伸ばしてくれることと思います。 |